

平成 27 年 5 月 18 日  
第一管区海上保安本部救難課

## 合同救難訓練で連携強化とスキルアップ！！

第一管区海上保安本部では、5月15日に小樽港色内ふ頭において救難強化巡視船えりも（釧路）及び潜水士指定船ほろべつ（小樽）合同で「酸欠区画からの要救助者救出訓練」、「模擬転覆船からの要救助者救出訓練」「泳力強化訓練（1000m）」を実施しました。

「酸欠区画からの要救助者救出訓練」及び「転覆船要救助者救出訓練」は、二船の連携をより深める目的で混成チームにより実施し、また、「泳力強化訓練」は日頃の努力の成果を発揮させる目的で個人戦とし、更に目的意識をより明確にするため競技形式として実施し、成績優秀者には、「警備救難部長賞」が授与されました。

また、本合同訓練には、テレビ2社・新聞2社による取材があり、インタビューを受けた潜水士からは「転覆海難は危険を伴う特殊海難であり知識を得てからでないと対応が難しい」「意思疎通を図る事前準備が非常に難しく、今回良い経験になった」と頼もしい発言もあり、道民に対し、当庁の活動を知ってもらう良い機会となりました。

当日は、天候曇り・気温15度・海水温度12度・東の風10メートルが連吹し、体感温度も低い状況下での訓練となったものの、参加者の周囲は、常に熱気に包まれ、訓練は幕を閉じました。

当本部では、今後とも管区救助勢力の更なる技術向上と各々の組織のモチベーション維持向上にも力を注いでいくこととしています。



表彰式及び警備救難部長講評